

### グリーンスローモビリティの実証実験

#### 実証実験の目的

- バス停、生活に必要な施設等までアクセスすることが困難な高齢者等が今後増加していくことが見込まれるため、デマンド交通のほか、福祉有償運送やボランティア輸送等の様々な交通モードの導入等の検討をします。
- 地域主体で共助としての「グリスロ」の実現可能性、持続性、効果等を確認・検証します。

#### 令和7年度 実証実験概要

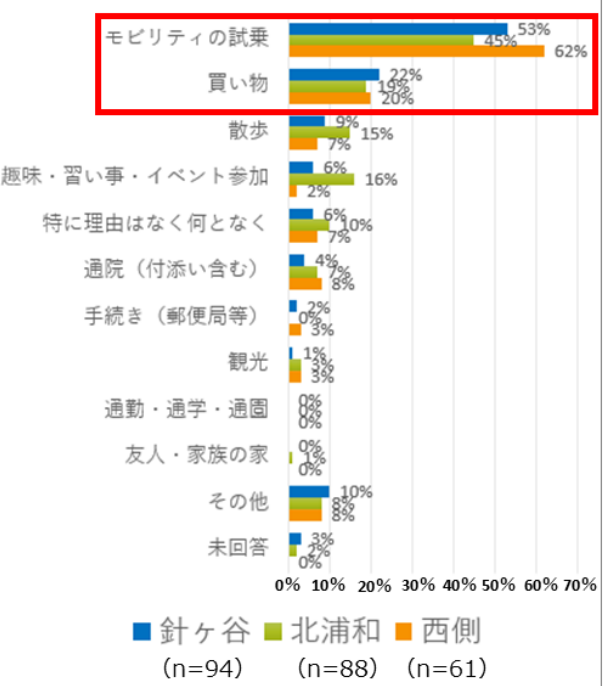
- 対象地域 浦和区北浦和・針ヶ谷地区
- 運行時間 10時～15時 (平日)  
約30分に1便 (1日7～8便)
- 対象者 地域の方 (利用者限定なし)
- 運賃 無料
- 予約 なし (座席定員制・5名まで)
- 運転手 委託
- 地域サポーター (補助員) あり (地元実施回数76回/104回 協力人数57人)



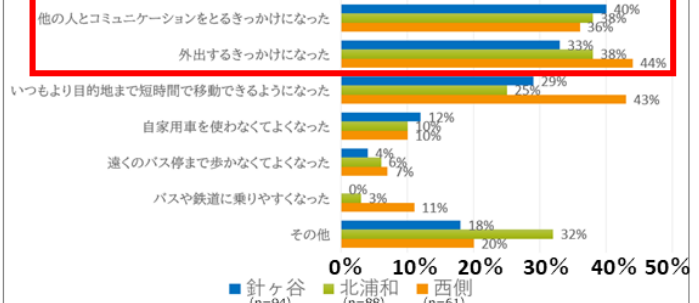
#### 実証実験結果(アンケート)

- 利用者属性は、70代以上が半数、30～50代が約1割弱
- 利用目的は、モビリティの試乗が約半数、買い物が約2割
- グリスロを利用してよかった点は、コミュニケーションの促進や外出促進
- グリーンスローモビリティ運行に対する利用者の総合評価は、針ヶ谷 68%、北浦和 66%、西側 72%の方から「良い・やや良い」との評価

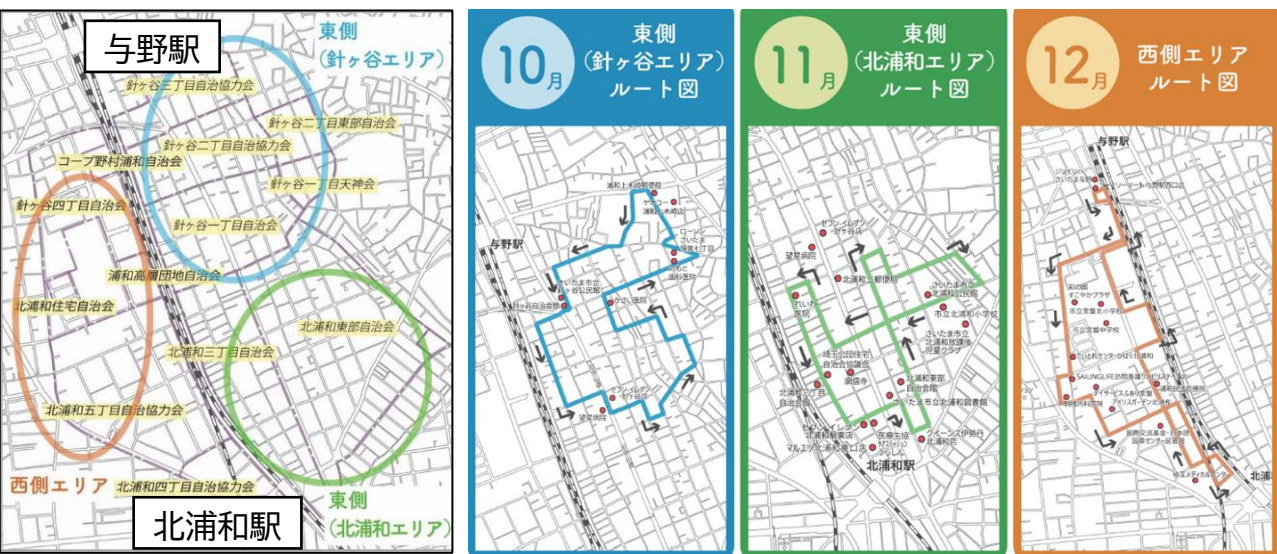
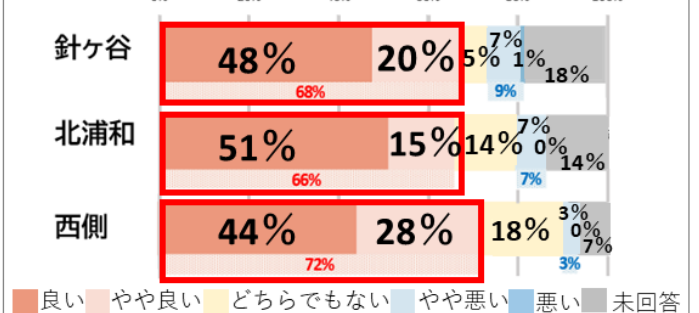
#### 利用目的(3エリア比較)



#### 利用してよかった点(3エリア比較)

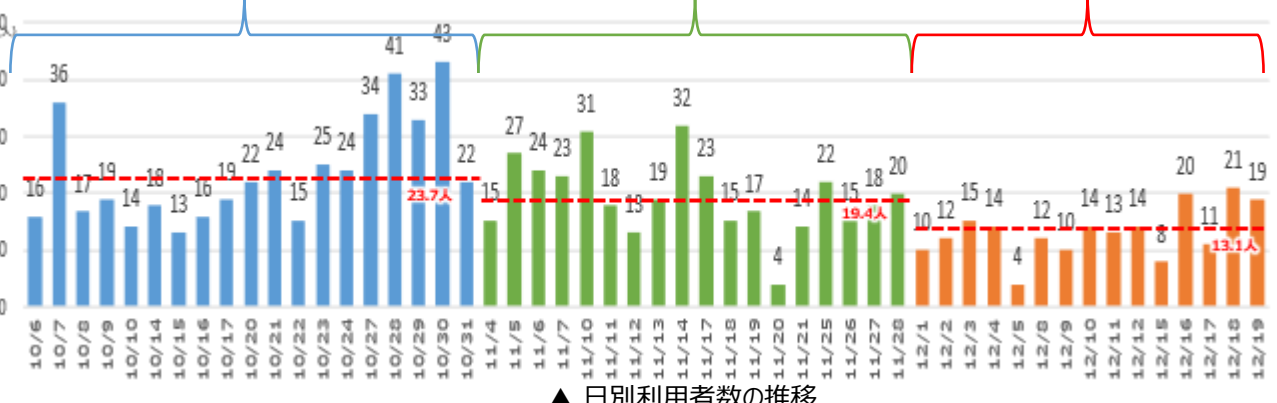
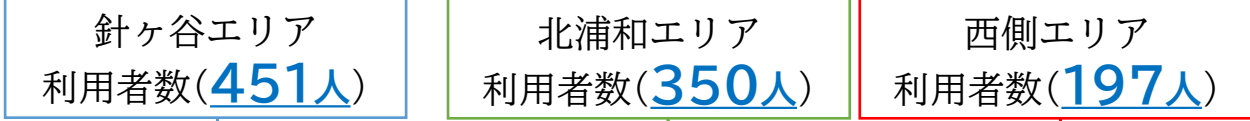


#### グリスロの総合評価(3エリア比較)



#### 実証実験結果(利用実績)

● 全体利用者数は998人であり、1日あたり約19人/日、1便あたり約2.4人/便でした。



#### 実証実験を踏まえての課題

- 持続的な運営体制・ボランティアの人員確保
- 車両特性と移動ニーズに沿ったルート・ダイヤ設定
- 分かりやすい停留所の設置方法、周知
- 気候等への適応性 (暑さ・寒さ対策)

#### 今後の予定

駅周辺における実証実験の実施(令和7年度)→郊外部等における実証実験の実施(令和8年度)  
『地域主体での運営(運転・地域サポーター等)にて検証』

#### ～検討イメージ～

- コミュニケーションの促進や外出促進等の導入効果の検討
- 実証実験の結果を踏まえ、地域主体での実装に向けた課題の整理
- 持続的な実施に向けた地域主体での実施体制や募集方法の検討
- 地域特性や地理的条件なども踏まえた導入ルールの検討
- ボランティア輸送としての実現可能性の検討
- 既存事業との整合(福祉局 高齢者等の移動支援事業)
- コスト評価(車両調達費用・維持管理費用など)

⇒ **本格的な制度の実施判断** (持続性、費用対効果などを総合的に判断)

